

チェアサイド用嫌気培養装置を用いた根管治療の進め方

○ 歯髄炎の症例

抜髄処置 → 細菌検査（無菌検査） → 培養陰性 → 細菌検査（無菌検査） → 培養陰性 → 根管充填

↓

培養陽性 → 感染根管処置¹⁾

↓

培養陽性 → 感染根管処置¹⁾

○ 臨床症状のない感染根管の症例

感染根管処置¹⁾ → 細菌検査（無菌検査） → 培養陰性 → 細菌検査（無菌検査） → 培養陰性 → 根管充填

↓

培養陽性 → 感染根管処置¹⁾

↓

培養陽性 → 感染根管処置¹⁾

* 根管治療を繰り返しても培養陰性が得られない場合は難治性根管処置³⁾へ

○ 急性症状のある感染根管の症例

感染根管処置²⁾ → 細菌検査、
（ファーストチョイス抗生物質感受性試験
抗生物質投与） → 培養陰性 → 細菌検査（無菌検査） → 培養陰性 → 根管充填（他の原因を疑う）

↓

培養陽性 → 感染根管処置²⁾

↓

培養陽性 → 感染根管処置²⁾

（セカンドチョイス抗生物質投与）

* 根管治療を繰り返しても培養陰性が得られない場合は難治性根管処置³⁾へ

○ 細菌が排除困難な症例

難治性根管処置³⁾ → 細菌検査、抗生物質感受性試験 → 培養陰性 → 細菌検査（無菌検査） → 培養陰性 → 根管充填

↓

培養陽性 → 難治性根管処置³⁾

↓

培養陽性 → 抗生物質感受性試験

（選択した抗生物質局所投与
全身投与も併用）

（選択した抗生物質局所投与
全身投与も併用）